



国際ロータリー第2800地区

鶴岡西ロータリークラブ

地区方針 **「ロータリーに夢を持って 行動しましょう!!!」**

第2601回例会 2022年8月1日(月) 会場: グランド エル・サン

◆会長 辻 博智 ◆幹事 佐藤 正晴

会長挨拶



8月になりました。記録的に短い梅雨が明け本格的な夏になりましたが今年はセミが鳴かないと話題になることが多くありました。これは鶴岡だけでなく全国的な現象だったようです。セミが羽化するには気温の上昇に加え、大量の雨が土を柔らかくすることも必要なので、雨が少ない梅雨だったのでそれが影響していたようです。しかしながら先週末ぐらいからまだ少ないもののセミの鳴き声が聞こえ本来の夏になった気がします。

先日は、8月2日、3日に長岡の花火大会が3年ぶりに開催されると発表がありました。赤川花火も無事開催されることを楽しみにしています。

さて、先日の夜例会で使用した移動例会点鐘用の鐘が破損してしまいましたので理事会で確認のうえ、購入したいと思います。ところでこの点鐘はなぜ行うのでしょうか。ロータリーに入会した頃に受けた来事の一つでした。疑問に思ったことは他にもあったのですが、今日は点鐘について調べてみました。ご存じの方も多いたと思いますが、私より入会暦の浅い方もおりますのでお話ししたいと思います。

点鐘の事は英語ではShip's bellやTime bell と訳され、元々は航海時代に船上で時間を知らせる鐘からきているようです。昔は時計が無かったので正確な時間を知るには正午に太陽の高度が最大になった12時だけでした。正午以降は、30分毎に砂時計をひっくり返し、タイムベルとして鐘を鳴らし時間を把握していたようです。教会のベルやお寺の鐘なども同じような意味合いのようです。

私は、ロータリークラブの例会では開会時・閉会時には必ず鐘を鳴らすのが義務化されていると思っていましたが単なる「儀式」の意味合いが強いです。

日本のロータリークラブでは、ほとんどのクラブで会長が点鐘を行っているようですが、世界のロータリークラブで点鐘を行うのはむしろごくわずかのようです。開会します。閉会します。この時に鐘を鳴らすことにより気持ちを切り替える区切りになるので、日本人には合った習慣なのかもしれません。

幹事報告



- ・ハイライト米山 米山奨学会
- ・齋藤榮助PGより 「ロータリークラブに入ろう」 冊子2冊をいただきました
- ・ご協賛のお礼 赤川花火実行委員会
- ・8月の例会について 鶴岡RC、鶴岡南RC、鶴岡東RC より

誕生祝い



8月誕生祝い

五十嵐 浩 君
五十嵐 久廣 君
菅井 保彦 君
佐藤 正晴 君

ゲストスピーチ

Studio Perform 代表 小林 円 様



肩こり緩和体操 と 脳トレ体操



ニコニコBOX

本日の出席	会員数	30名	出席数	19名	出席率	63.33%
前々回の出席	出席率	46.67%	修正出席者数	19名	確定出席率	63.33%